

# イノチオ診断室からの 病害虫情報

2021年  
1月号



**細菌性病害**の持込みが増えています！  
今後も増加が予想されますので引き続きご注意ください！



<b>細菌病</b>	青枯病、黒斑細菌病、斑点細菌病、軟腐病、黒腐病 など
<b>症状</b>	葉の斑点症状・葉縁の褐変・水浸状の腐敗・株の萎れ など
<b>多発条件</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 過去の発病圃場（土壌・培地中の残渣に菌が生存）</li> <li>▶ 施設内の多湿・結露 ▶ 急な雨の降り込み ▶ 排水不良</li> </ul>
<b>対策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 被害株の圃場外への除去 ▶ ハサミなど作業用器具の消毒</li> <li>▶ 薬剤散布の実施（銅シン水剤・クプロシールド・マイコシールドなど）</li> <li>▶ 土壌消毒の実施</li> <li>▶ 施設内の換気（サイド・天窗の開放）</li> <li>▶ 循環扇の利用 ▶ 早朝加温</li> </ul>

※農薬はラベルを  
確認後ご使用ください。

## ⚠️ 病害虫発生予報 ⚠️

※『あいち病害虫情報』発生予報第9号(12/1発表)10号(12月25日発表)より  
<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yosatu2020.html>

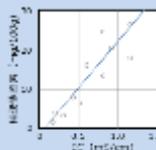
	作物名	病害虫名	発生量
12月	トマト(施設)	黄化葉巻病	やや多い
		コガタムシ類	やや多い
	ナス(施設)	うどんこ病	やや多い

	作物名	病害虫名	発生量
1月	ナス(施設)	灰色かび病	やや多い
	キュウリ(施設)	ミナキイロザミダ	やや多い

## 土壌コラム 第5回：ECと硝酸態窒素

土壌中の窒素のうち、硝酸態窒素は土壌のEC（電気伝導度）と大きく関わります。

硝酸態窒素 少い ⇔ EC 低い  
" 多い ⇔ " 高い



そのため、栽培中に追肥が必要かどうか迷った場合、土壌ECを分析することで追肥が必要か判断できます。

土壌ECは簡易分析でも計れます。〔土：水＝1：5〕の割合で混ぜ合わせ、暫くしてから懸濁水のECを計ります。ECが1mS/cm以上の場合、硝酸態窒素は十分に含まれていると判断します。一方、**0.3mS/cm**を下回っていたら硝酸態窒素は少ない状態です。**追肥など**での対応が必要となります。

※数値は目安です。土壌・栽培作物・栽培条件により追肥の要否は変わるため、ご注意ください。

## ☀️ 気象庁1ヵ月予報 ☔️

気温：ほぼ平年並み

降水量：ほぼ平年並み

日照時間：ほぼ平年並み

過去の診断室情報は  
右のQRコードから！  
毎月の防除情報も  
配信しています！

